

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 2003年 8月11日
Date of Application:

出願番号 特願2003-291112
Application Number:

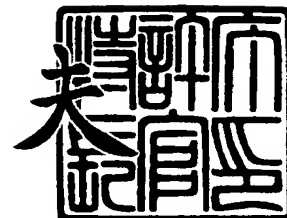
[ST. 10/C]: [JP 2003-291112]

出願人 富士ゼロックス株式会社
Applicant(s):

2004年 1月 9日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井 康



出証番号 出証特2003-3110210

【書類名】 特許願
【整理番号】 FE03-01827
【提出日】 平成15年 8月11日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 G03G 15/00
【発明者】
 【住所又は居所】 神奈川県海老名市本郷 2 2 7 4 番地 富士ゼロックス株式会社内
 【氏名】 宮治 辰夫
【発明者】
 【住所又は居所】 神奈川県海老名市本郷 2 2 7 4 番地 富士ゼロックス株式会社内
 【氏名】 遠田 正之
【特許出願人】
 【識別番号】 000005496
 【氏名又は名称】 富士ゼロックス株式会社
【代理人】
 【識別番号】 100096611
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 宮川 清
【選任した代理人】
 【識別番号】 100097320
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 宮川 貞二
【選任した代理人】
 【識別番号】 100098040
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 松村 博之
【先の出願に基づく優先権主張】
 【出願番号】 特願2002-323602
 【出願日】 平成14年11月 7日
【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 069292
 【納付金額】 21,000円
【提出物件の目録】
 【物件名】 特許請求の範囲 1
 【物件名】 明細書 1
 【物件名】 図面 1
 【物件名】 要約書 1
 【包括委任状番号】 9405581
 【包括委任状番号】 9405582
 【包括委任状番号】 9903076

【書類名】 特許請求の範囲**【請求項 1】**

記録用紙上に可視像を形成する画像形成部と、

複数枚の記録用紙を収容し、前記画像形成部に記録用紙を順次供給する記録用紙収容部と、

前記画像形成部の上部に設けられ、前記画像形成部から排出された記録用紙を保持する排紙トレイと、

前記画像形成部の駆動信号を入力するための操作部と、

前記記録用紙収容部から取り出された記録用紙を、前記操作部が設けられた前方の面に沿って搬送し、前記画像形成部を経て前記排紙トレイに送り出す用紙搬送路とを有し、

前記用紙搬送路は、前方側に開放される搬送路カバーを備え、

前記記録用紙収容部は、側方に引き出すことが可能となった給紙トレイを備えることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記記録用紙収容部は、上下に複数段の給紙トレイが配置され、各給紙トレイは前方側の端部に、該給紙トレイを引き出すための取っ手を有することを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記給紙トレイは、該画像形成装置本体から引き出した状態で、該給紙トレイの引き出し方向における後部を回転中心として、該画像形成装置本体の前方側へ水平方向に旋回が可能に支持されていることを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

鉛直方向の回転軸と、この回転軸を軸線回りに回転が可能に保持する軸受けとのいずれか一方が前記給紙トレイに固着され、他方が該画像形成装置本体に固着されており、

前記回転軸と前記軸受けとは、水平方向に相対移動して相互間の脱着が可能となっており、

前記給紙トレイを引き出した状態で前記回転軸が前記軸受けに装着され、該回転軸を中心として前記給紙トレイが前方側に旋回するものであることを特徴とする請求項 3 に記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記搬送路カバーは、上下に複数に分割して設けられ、各搬送路カバーは、水平な軸線回りに回動して搬送路を開放するものであり、各搬送路カバーの高さ方向の寸法がほぼ同じになっていることを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【書類名】明細書

【発明の名称】画像形成装置

【技術分野】

【0001】

本願に係る発明は、記録媒体上に可視像を形成する画像形成装置に係り、操作者が立った状態の他、車椅子等に着座した状態でも好適に用いることができる画像形成装置に関する。

【背景技術】

【0002】

近年では、身体障害者の社会進出が盛んになってきており、オフィス等において車椅子使用者が車椅子に座った状態で、複写機・プリンタ・ファクシミリ等の画像形成装置を使用する機会が増えてきている。このため、車椅子に着座した状態の操作者等も容易に操作を行うことができる画像形成装置が求められている。

【0003】

現在普及している画像形成装置の一態様として、電子写真法を用いた装置であって操作者が装置の前方に立った状態で操作するものがある。このような画像形成装置は、複写機・プリンタ・ファクシミリとしての機能を有する複合機や、カラー複写機として広く用いられており、図10に示すように装置下部に記録用紙収容部101を備え、その上部に画像形成部102が設けられている。そして、記録用紙収容部101から順次送り出される記録用紙は、装置側面Sに沿って上方に搬送され、画像形成部102で記録用紙上にトナー像が転写される。未定着のトナー像を担持した記録用紙は、定着装置103に搬送され、加圧・加熱によって定着画像とされた後、画像形成部102の上部に設けられた排紙トレイ104に排出されるようになっている。

【0004】

また、画像形成部102の上方には、画像読み取り部105が設けられており、上面に現像台ガラス（図示しない）及びこの原稿台ガラス上を覆う原稿カバー106が設けられ、原稿台ガラス上に載置された原稿面に露光して、画像を読みとることができるものとなっている。さらに、原稿台ガラスが設けられた位置の前方には、装置全体の操作を行うための操作部107が設けられており、必要な情報が表示される表示装置及び入力キー等が設けられている。

【0005】

上記記録用紙収容部101は、異なるサイズ of 用紙を収容することができるよう上下に複数段の給紙トレイ110を有し、それぞれは前方に引き出して記録用紙を補給することができるものである。また、記録用紙収容部101から画像形成部102に記録用紙を搬送する経路に沿って、装置本体の側面が開放できるようになっており、用紙詰まり（ジャム）が生じたときには、装置本体の側面Sから用紙搬送路を開放して詰まった用紙を除去することができる。

【0006】

しかし、このような画像形成装置は、健常者が装置本体の前方に立って操作することを想定しており、車椅子を使用する操作者にとっては次のような問題点がある。

【0007】

- 1) 原稿を載置する原稿台の位置が高く、原稿カバーの開閉が難しい点
- 2) 原稿台ガラスの後方を視認しにくく、原稿を原稿台ガラス上に正確にセットするのが難しい点
- 3) 画像読み取り部の前部に設けられた操作部の位置が高く、表示画面を見て入力キーを押すのが難しい点

このため、装置本体を支持する部分に昇降装置を設け、操作の状況に応じて装置全体が上下に移動する画像形成装置が開示されている（特許文献1）。また、車椅子を使用する操作者は装置に正面から向い合うと車椅子の足置き部が装置の下部に当たり、装置に接近して操作できないという点に鑑みて、装置の下部に足置き部が収容される蹴り込み部を設

けた画像形成装置が提案されている（特許文献 2）。

【特許文献 1】特開平 7 - 1 5 7 1 4 0 号公報

【特許文献 2】特開平 6 - 1 4 8 9 6 0 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0 0 0 8】

しかしながら、車椅子使用者が画像形成装置を操作しようとするときに生じる問題点は上記にとどまらず、次のような問題点もある。

従来一般的な装置では、紙詰まりが生じたときに装置の側面に沿って設けられた用紙搬送路を開放して詰まった用紙を除去しなければならない。このため、装置の側方に回り込んで操作する必要があり、車椅子を使用する操作者は装置の前方から移動することを余儀なくされる。上記特許文献 1 に記載の装置では、紙詰まりが生じたときに装置全体が上下して詰まった用紙を除去し易い位置に移動するものとなっているが、装置の前方にいる操作者が側面の搬送路から詰まった記録用紙を除去することは容易ではない。

【0 0 0 9】

また、用紙を給紙トレイに補給しようとするときに、給紙トレイを装置の前方に大きく引き出す必要があり、車椅子に着座した状態では、車椅子が障害になって容易に引き出すことができない。

【0 0 1 0】

本願に係る発明は、上のような事情に鑑みてなされたものであり、その目的は、車椅子を使用する操作者が、詰まった記録用紙を除去して駆動を再開する操作及び記録用紙を補給する操作を容易に行うことができる画像形成装置を提供することである。

【課題を解決するための手段】

【0 0 1 1】

本願発明に係る画像形成装置は、記録用紙上に可視像を形成する画像形成部と、複数枚の記録用紙を収容し、前記画像形成部に記録用紙を順次供給する記録用紙収容部と、前記画像形成部の上部に設けられ、前記画像形成部から排出された記録用紙を保持する排紙トレイと、前記画像形成部の駆動信号を入力するための操作部と、前記記録用紙収容部から取り出された記録用紙を、前記操作部が設けられた前方の面に沿って搬送し、前記画像形成部を経て前記排紙トレイに送り出す用紙搬送路とを有するものとし、前記用紙搬送路は、前方側に開放される搬送路カバーを備えるものとする。そして、前記記録用紙収容部は、側方に引き出すことが可能となった給紙トレイを備えるものとする。この記録用紙収容部は、上下に複数段の給紙トレイを配置することができるものであり、各給紙トレイは前方側の端部に、該給紙トレイを引き出すための取っ手を有するものが望ましい。

【0 0 1 2】

また、上記給紙トレイは、該画像形成装置本体から引き出した状態で、この給紙トレイの引き出し方向における後部を回転中心として、該画像形成装置本体の前方側へ水平方向に旋回が可能に支持することができる。このように支持する構造は、例えば、鉛直方向の回転軸と、この回転軸を軸線回りに回転が可能に保持する軸受けとのいずれか一方を給紙トレイに固着し、他方を画像形成装置本体に固着して、上記回転軸を中心として給紙トレイを旋回させる。そして、上記回転軸と上記軸受けとは、給紙トレイの引き出し動作によって相互間が脱着されるものとし、上記給紙トレイを引き出した状態で回転軸を軸受けに装着させる。これにより、回転軸を中心として上記給紙トレイが前方側に旋回するように構成することができる。

【0 0 1 3】

一方、前記搬送路カバーは、上下に複数に分割して設けるのが望ましく、各搬送路カバーは、水平な軸線回りに回動して用紙搬送路を開放するものとし、各搬送路カバーの高さ方向の寸法がほぼ同じとするのが好ましい。

【0 0 1 4】

このような画像形成装置では、記録用紙収容部から取り出された記録用紙は、装置の前面に沿って設けられた用紙搬送路を経て、画像形成部に送り込まれる。そして、用紙搬送路又は画像形成部で紙詰まりが生じたときには、搬送路カバーが前方側に開放される。したがって、詰まった記録用紙を除去するという、状況を十分に観察して行う必要がある操作を、操作者が移動することなく容易に行うことが可能となる。また、記録用紙を補給する操作は、給紙トレイを側方に引き出すので装置前方にいる操作者が支障なく行うことができる。

【0015】

また、給紙トレイの前方側の端部にこの給紙トレイを引き出すための取っ手を設けることにより、装置の前方にいる操作者は、この取っ手を利用して容易に給紙トレイを側方に引き出すことが可能となる。

【0016】

さらに、給紙トレイが、装置本体から引き出した状態で前方側へ水平方向に旋回することにより、装置本体の前方にいる操作者に接近する。したがって、操作者が車椅子を使用する者であっても、装置本体の前方で移動することなく容易に記録用紙を補給することが可能となる。

【0017】

一方、前方側に開放される搬送路カバーを、複数の分割されたものとすることによって、それぞれの寸法を小さくすることができ、水平な軸線回りに回動して用紙搬送路を開放したときに、前方に張り出す長さを小さくすることができる。したがって、車椅子を使用する操作者は、装置本体から大きく離れることなく、装置に近接した位置で操作を行うことができ、詰まった記録用紙の状況を十分に観察し、適切に除去するという、やや難易度の高い操作を、容易かつ確実に行うことが可能となる。また、紙詰まりが生じたときに、用紙搬送路を開放するために移動することも不要となる。

【発明の効果】

【0018】

以上説明したように、本願発明に係る画像形成装置では、用紙搬送路が装置の前方側に開放され、車椅子使用者も紙詰まり時に移動することなく復旧作業を行うことができるとともに、装置本体に近接して的確な対応が可能となる。また、給紙トレイは、前面側に設けられた取っ手を利用して側方に引き出すことができるので、車椅子を使用する操作者は移動することなく前方側から容易に記録用紙の補給を行うことが可能となる。さらに、給紙トレイを前方側に旋回させることによって操作者はより簡単に記録用紙を補給することができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0019】

以下、本願に係る発明の実施の形態を図に基づいて説明する。

図1は、本願に係る発明の一実施形態である画像形成装置の斜視図である。また、図2は、この画像形成装置の概略構成図である。

【0020】

この画像形成装置は、原稿の画像を読み取って電氣的な画像信号に変換する画像読み取り部1と、画像信号に基づいてトナー像を形成し、記録紙上に定着する画像形成部2と、上記画像形成部2に順次記録用紙を供給する記録用紙収容部3とを備えるものである。

【0021】

上記画像読み取り部1は、原稿台ガラス（図示しない）と、これを覆う原稿カバー11とを有し、原稿台ガラス上に載置された原稿を下方から光照射する。そして、この反射光をセンサで検出することにより画像信号に変換するものである。

上記原稿カバー11は一辺が上方に跳ね上げられるように回動して原稿台が開放されるものであり、原稿カバー11が開放される側、つまり前方側に操作部12が設けられている。操作部12は表示装置13と入力キー14とを有しており、表示装置13による表示を見ながら画像形成条件等を入力することができるようになっている。

【0022】

上記画像形成部 2 は、4 つの画像形成ユニット 21 a, 21 b, 21 c, 21 d を備えるものであり、それぞれは、シアン、イエロー、マゼンタ及びブラックのトナー像を形成するものである。そして、周回駆動される中間転写ベルト 22 上にそれぞれのトナー像を重ねて転写し、フルカラーのトナー像を形成するものとなっている。

【0023】

それぞれの画像形成ユニット 21 は円筒状の感光体ドラム 23 を有し、この周面を一様に帯電する帯電装置 24、像光を感光体ドラムの周面の照射して静電潜像を形成する像露光装置 25、上記静電潜像にトナーを転移してトナー像とする現像装置 26 を備えている。

【0024】

上記中間転写ベルト 22 は、複数の支持ローラ 27 に張架されており、これらのローラが装置本体の前面 F と平行に支持され、中間転写ベルト 22 は装置本体の前後方向に周回移動するものとなっている。そして、装置の前面付近で転写ローラ 28 と対向している。上記転写ローラ 28 は対向する支持ローラ 27 a との間に転写バイアス電圧が印加され、装置前面に沿って搬送される記録用紙に、中間転写ベルト 22 上のトナー像を転写するものとなっている。

【0025】

また、転写ローラ 28 が設けられた位置の上方には、定着装置 29 が設けられており、記録用紙上に転写されたトナー像を加熱・加圧して記録用紙上に定着するようになっている。そして、トナー像が定着された記録用紙は、画像形成部 2 の上方に設けられた排紙トレイ 4 内に排出される。

【0026】

上記記録用紙収容部 3 は、異なるサイズの記録用紙を収容し、一枚ずつ記録用紙を送り出す 4 つの給紙トレイ 31 a, 31 b, 31 c, 31 d を備えており、これらの給紙トレイから画像形成部 2、そして画像形成部の上方に設けられた排紙トレイ 4 に記録用紙を搬送する用紙搬送路 5 が設けられている。

【0027】

給紙トレイ 31 は、図 3 に示すように装置本体の側方に引き出して記録用紙を補給することができるようになっている。そして、前方側の端部には、操作者が給紙トレイ 31 を引き出すときに把持する取っ手 32 が設けられている。この取っ手 32 は、図 4 (a) に示すように凹陥部 32 a と、この凹陥部の前方部に設けられた柱状部 32 b とを有しており、操作者は上記凹陥部 32 a に指を差し入れるとともに、柱状部 32 b に指を掛けて前方から給紙トレイ 31 を側方に容易に引き出せるものとなっている。また、取っ手は、図 4 (b) に示すように前方側に開放された凹陥部 32 c と、この凹陥部 32 c の側方に設けられた壁状部 32 d とを有し、操作者が上記壁状部 32 d に指をかけて給紙トレイ 31 を側方に引き出せるようにしたものであってもよい。

【0028】

さらに、上記給紙トレイは、装置本体から側方に引き出した状態で、図 5 に示すように前方側へ水平に旋回が可能となっている。

【0029】

上記給紙トレイ 31 の旋回は、図 6 に示すように給紙トレイ 31 の側部後方、つまり最奥部に設けられた鉛直方向の回転軸 33 を中心に回転するものであり、給紙トレイ 31 を側方に引き出すことによって回転軸 33 の頂部 33 a が、装置本体に固着された軸受け 41 に嵌め合わされる。また、回転軸 33 の給紙トレイ 31 より下方に突出した部分 33 b は、図 7 に示すように装置本体側に設けられた支持枠 42 の凹部 42 a にはまり込み、回転軸 33 の上下の位置が回転可能に支持される。そして、上記回転軸 33 が装置本体の前方側に設けられていることによって給紙トレイ 31 は記録シートの載置面を水平に維持したまま、この画像形成装置本体の前方側へ旋回が可能となる。

【0030】

一方、給紙トレイ 31 から画像形成部 2 への用紙搬送路 5 は、装置本体の前面 F に沿って上方に記録用紙を搬送するように設けられており、中間転写ベルト 22 と転写ローラ 28 とが対向する位置からさらに装置前面 F に沿って上方に搬送され、定着装置 29 を通過して排紙トレイ 4 へと搬送されるものとなっている。

したがって、上下に積層された複数段の給紙トレイ 31 のそれぞれから記録用紙を引き出す用紙搬送路 5 が、給紙トレイ 31 を引き出す方向と交錯することがなく、用紙搬送路及び給紙トレイの構造を簡単なものとすることができる。

【0031】

そして、上記記録用紙収容部 3 から排紙トレイ 4 までの用紙搬送路は、装置前面に沿って設けられているので、装置前面に設けられた搬送路カバー 51 を開放することによって記録用紙の表面及び裏面をガイドする用紙ガイドが分離し、搬送路が前方へ開放されるようになっている。搬送路カバー 51 は、図 1 に示すように 4 つに分割して設けられており、それぞれのカバーの下端部に設けられた水平方向の回転軸回りに回転して、図 8 に示すように上部が前方に倒れるように開放されるものである。

【0032】

上記のような画像形成装置では、画像読み取り部 1 で画像信号が生成され、又は外部から画像信号が入力されると、それぞれの画像形成ユニット 21 で、感光体ドラム 23 の表面が帯電装置 24 ではほぼ一様に帯電され、画像信号に基づいて露光装置 25 から像光が照射される。これによって感光体ドラム 23 の表面に静電電位の差による潜像が形成される。そして、感光体ドラム 23 の回転にともない現像装置 26 からトナーが転移されてトナー像が形成され、中間転写ベルト 22 上に順次重ねて転写される。

【0033】

これとタイミングを合わせて、画像読み取り部 1 によって認識された画像サイズ又は外部から入力された画像サイズについての情報と対応する記録用紙が記録用紙収容部 3 から送り出され、画像形成部 2 に送り込まれる。

【0034】

中間転写ベルト 22 と転写ローラ 28 との間に記録用紙が送り込まれると、転写用バイアス電圧の印加によって形成されている電界内で、トナー像が中間転写ベルト 22 上から記録用紙に転写される。そして、未定着のトナー像を担持した記録用紙は定着装置 29 へ搬送され、定着装置 29 の有する加熱ローラと押圧ローラとの間で加熱押圧され、トナー像は記録用紙に溶融圧着される。

【0035】

上記工程において、記録用紙の搬送が何らかの原因で阻害されることがある。このような場合には、記録用紙が搬送経路の途中で停止することになり、画像形成動作を継続するためには、途中で停止した記録用紙を取り除く必要がある。このときには上記搬送路カバー 51 を開放して、詰まった記録用紙を除去するが、搬送路カバー 51 は装置の前面に設けられており、操作者が本来の操作を行う位置から移動することなく、詰まった記録用紙を除去する操作を行うことができる。このため、車椅子を使用する操作者であっても容易に対応が可能となる。また、搬送路カバー 51 を複数に分割して設けることによって上下方向の寸法を小さくすることができ、下端部に設けられた回転軸回りに回転して用紙搬送路 5 を開放した時に、前方への張り出し長さを小さくすることができる。したがって、図 9 に示すように、車椅子を使用する操作者は、装置本体から遠く離れることなく、近接した位置で搬送路カバー 51 を開放し、記録用紙の除去作業を行うことができる。このため、車椅子を使用する操作者も記録用紙が詰まった位置や状態を正確に観察し、適切な対応が可能となる。

【0036】

また、給紙トレイに記録用紙を補給するときには、取っ手を把持して給紙トレイを側方に引き出し、さらに前方側に旋回させることによって、記録用紙を収容する部分が装置本体の前方にいる操作者に接近し、操作者は移動することなく容易に記録用紙を補給することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【0037】

【図1】本願に係る発明の一実施形態である画像形成装置を示す概略斜視図である。

【図2】図1に示す画像形成装置の概略構成図である。

【図3】図1に示す画像形成装置の給紙トレイを引き出した状態を示す概略斜視図である。

【図4】給紙トレイの取っ手を示す拡大斜視図である。

【図5】図1に示す画像形成装置の給紙トレイを引き出し、さらに前方側に旋回させた状態を示す概略平面図である。

【図6】図1に示す画像形成装置の給紙トレイを旋回可能に支持する構造を示す概略斜視図である。

【図7】図1に示す画像形成装置の給紙トレイを旋回可能に支持する構造を示す概略断面図である。

【図8】図1に示す画像形成装置の搬送路カバーを開放した状態を示す概略斜視図である。

【図9】車椅子を使用する操作者が、図1に示す画像形成装置の紙詰まりに対応する状態を示す概略図である。

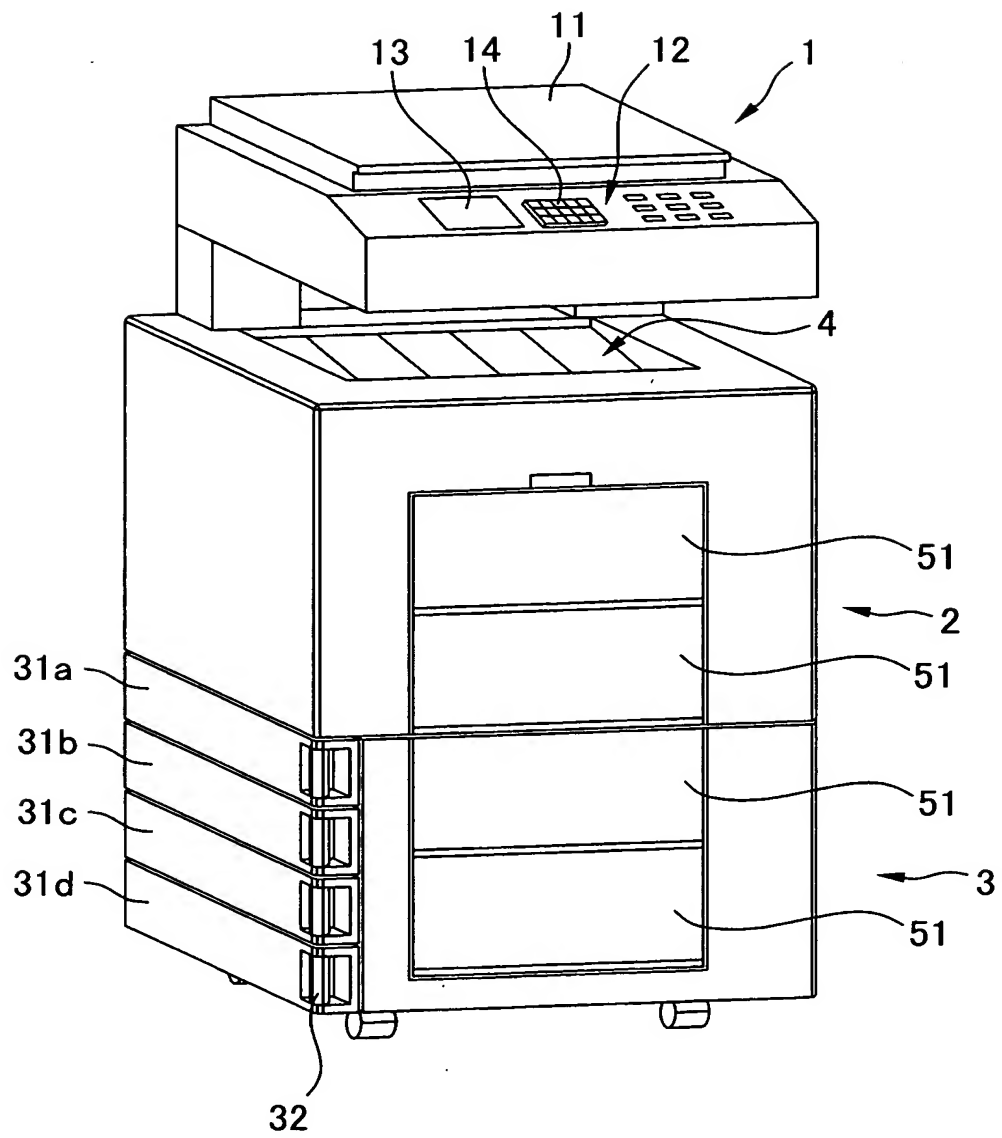
【図10】従来の画像形成装置を示す概略構成図である。

【符号の説明】

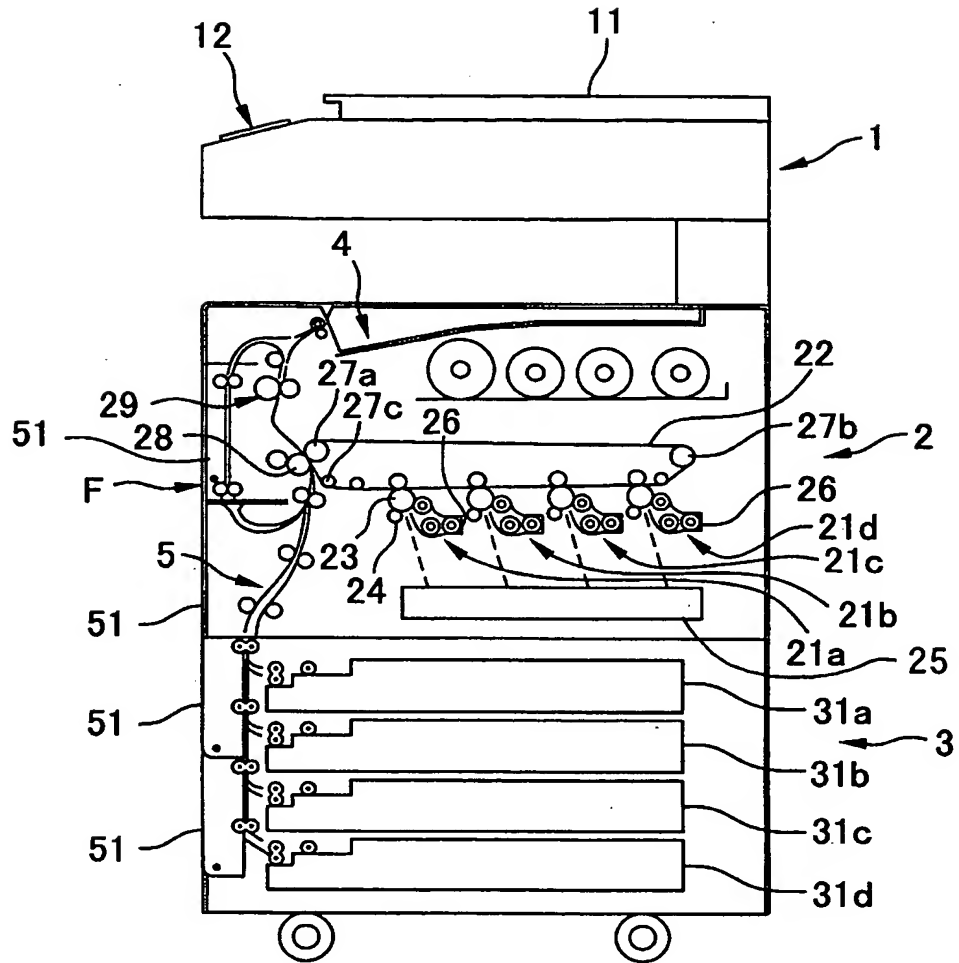
【0038】

1：画像読み取り部， 2：画像形成部， 3：記録用紙収容部， 4：排紙トレイ， 5：用紙搬送路， 11：原稿カバー， 12：操作部， 13：表示装置， 14：入力キー， 21：画像形成ユニット， 22：中間転写ベルト， 23：感光体ドラム， 24：帯電装置， 25：像露光装置， 26：現像装置， 27：支持ローラ， 28：転写ローラ， 29：定着装置， 31：給紙トレイ， 32：取っ手， 33：回転軸， 41：軸受け， 42：支持枠， 51：搬送路カバー

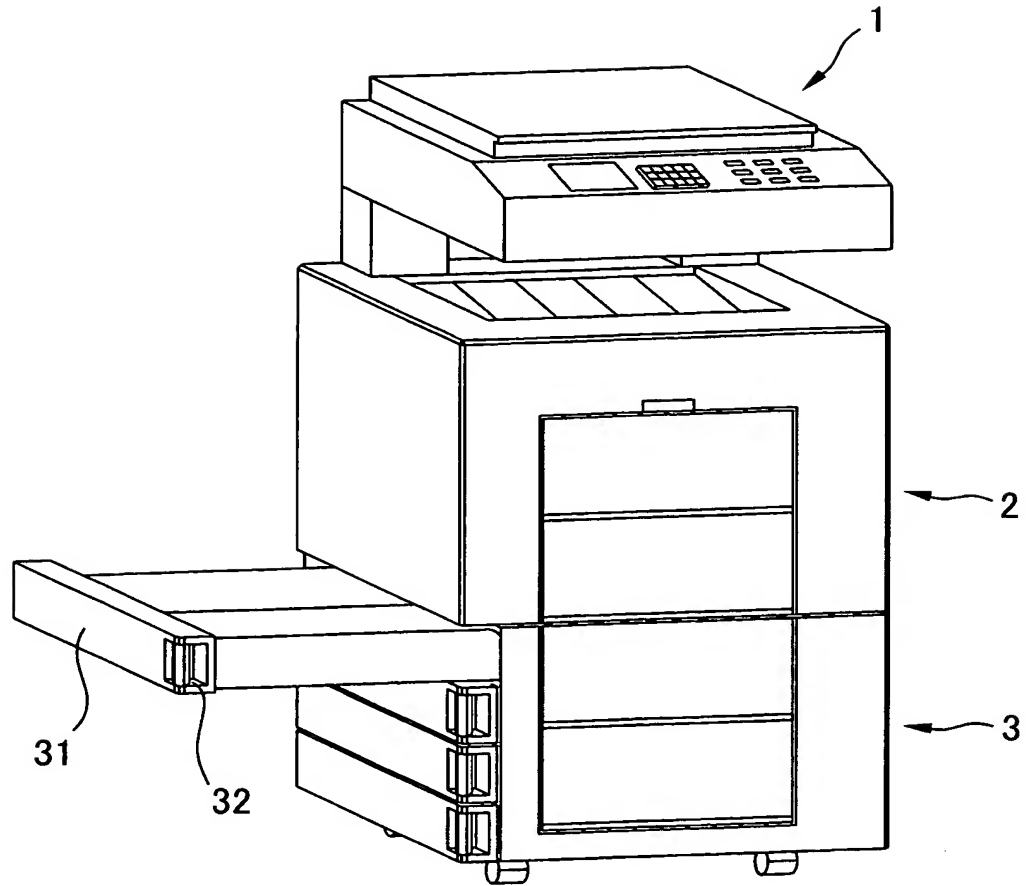
【書類名】 図面
【図 1】



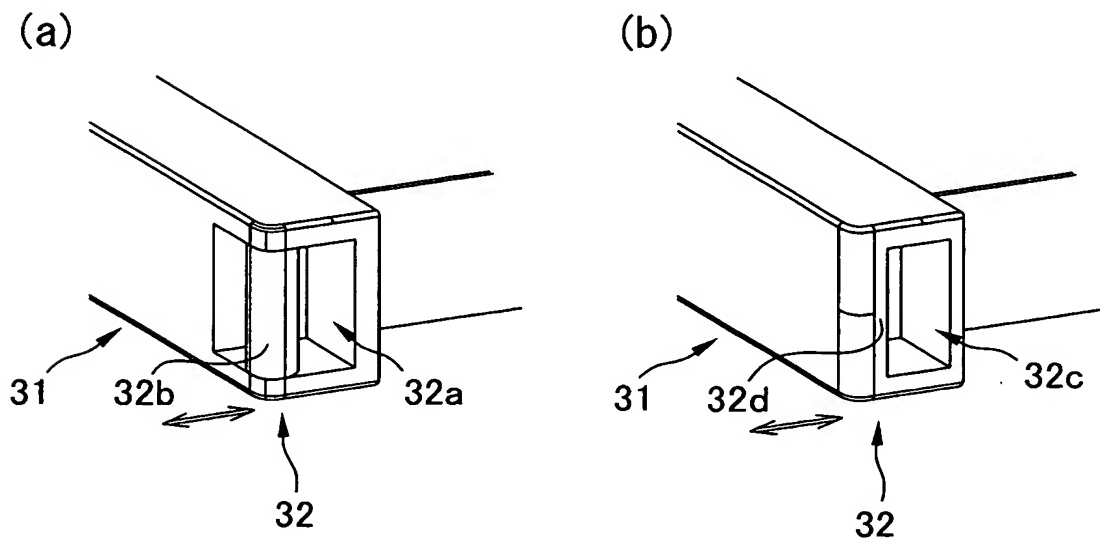
【図 2】



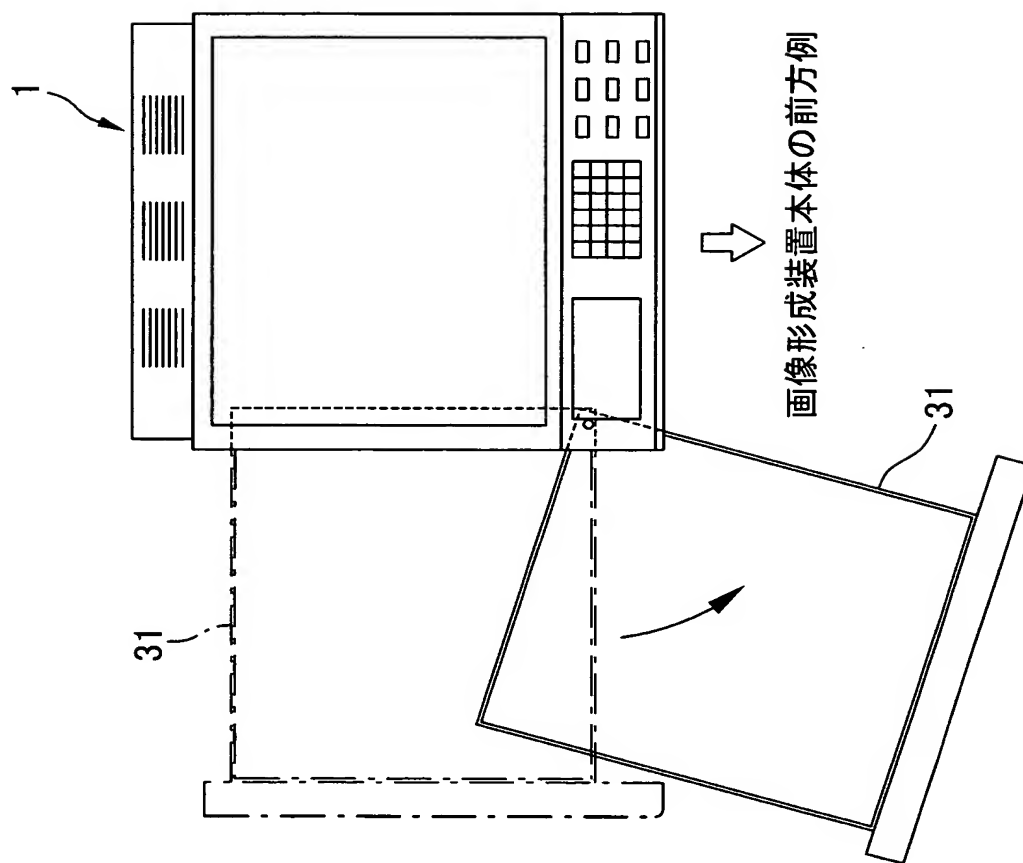
【図 3】



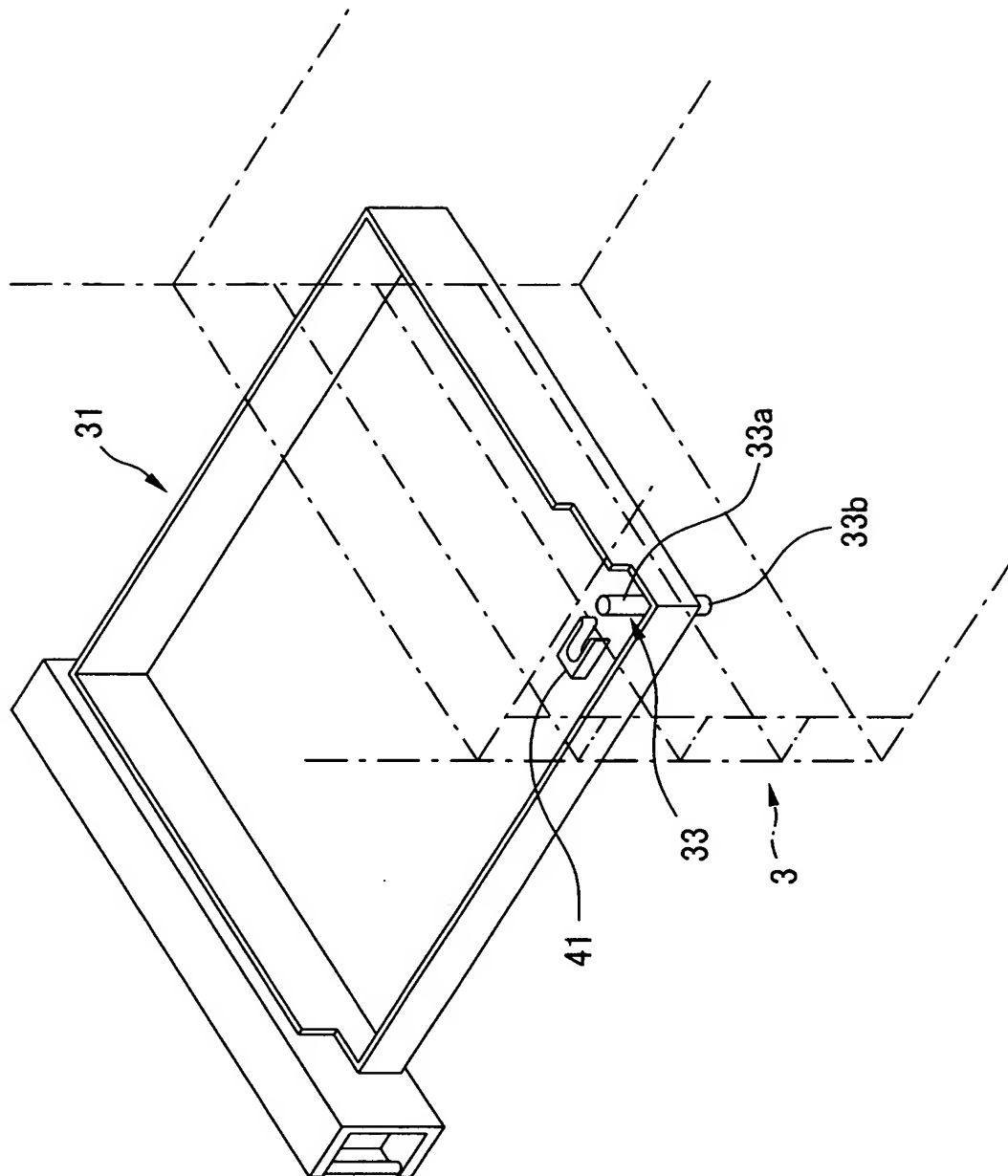
【図 4】



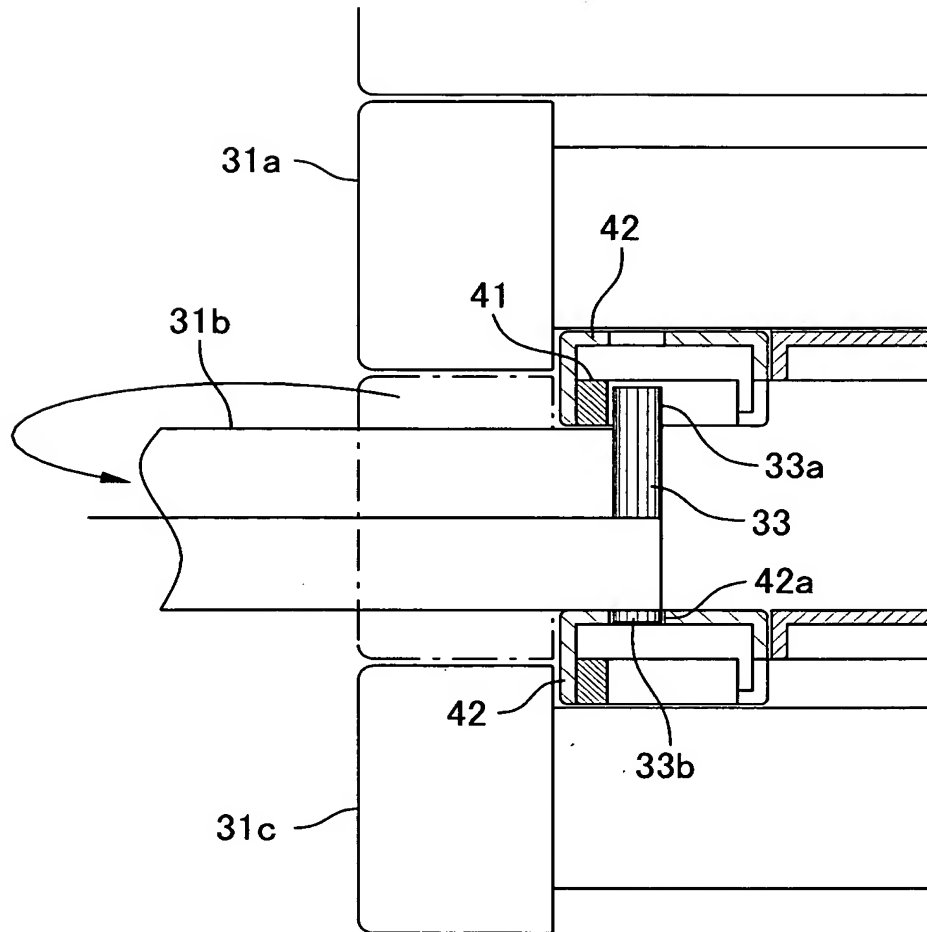
【図 5】



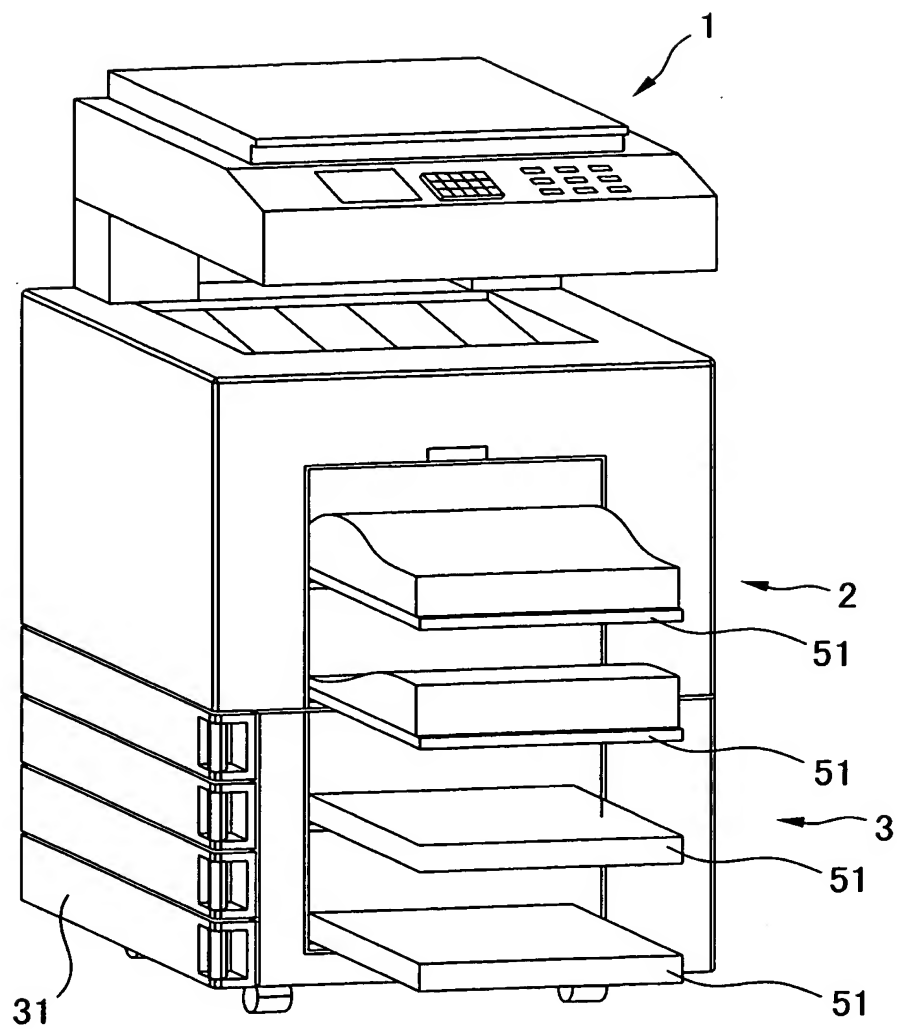
【図 6】



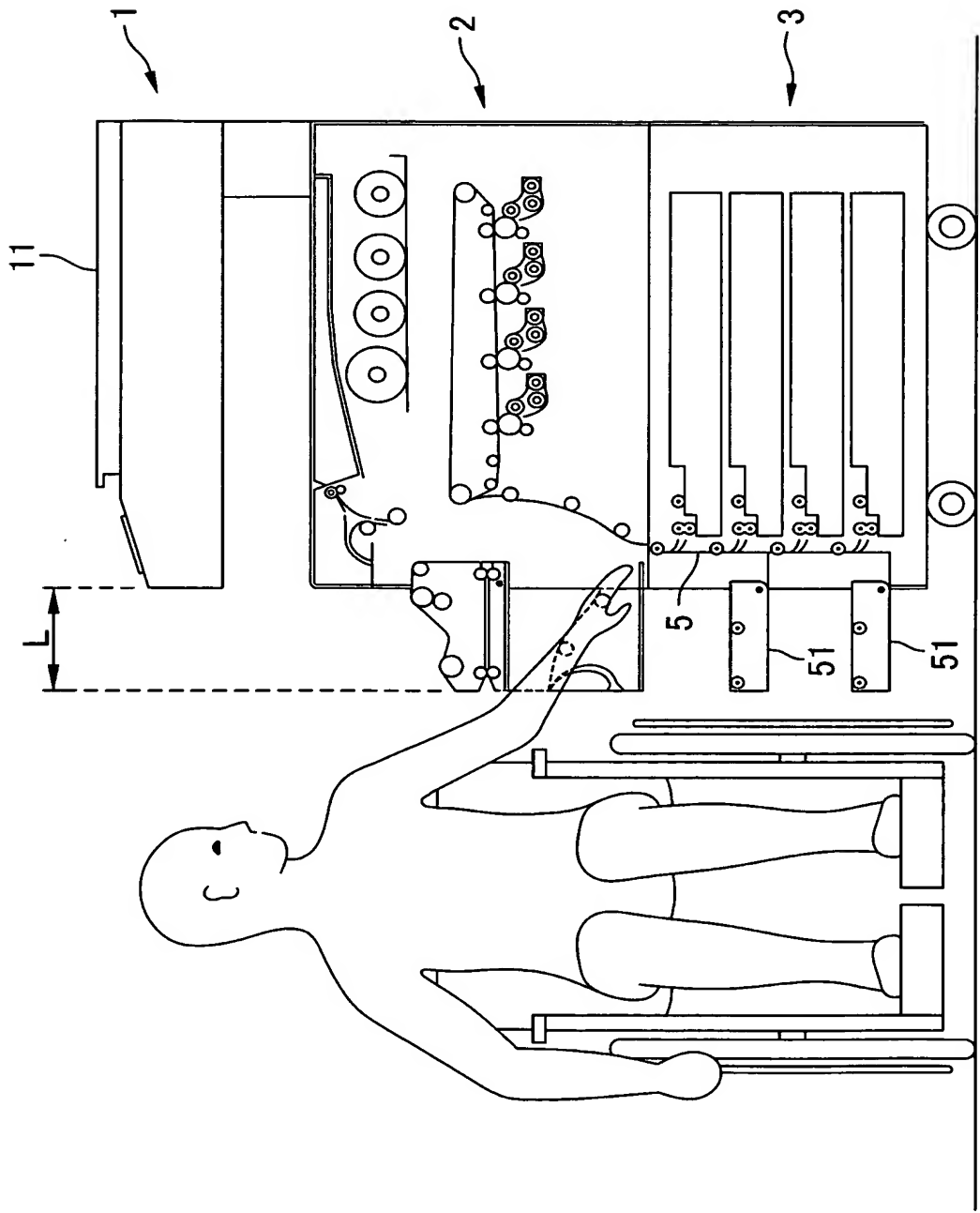
【図 7】



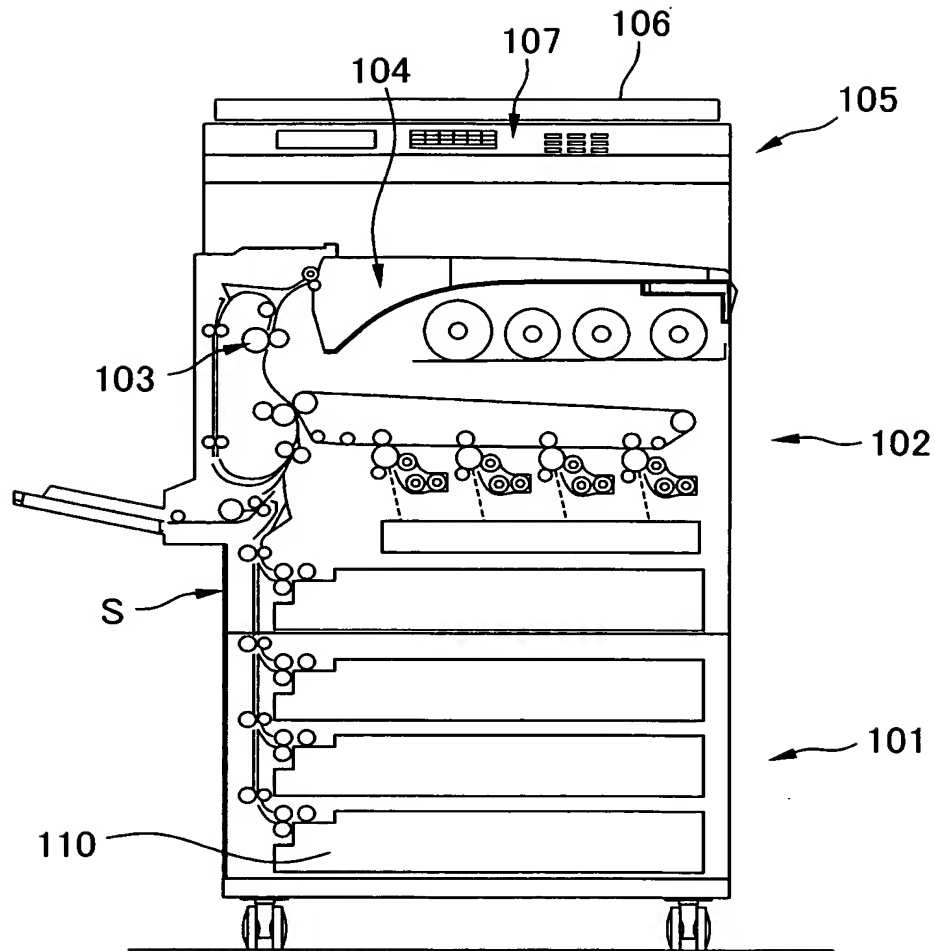
【図 8】



【図 9】



【図 10】



【書類名】 要約書**【要約】**

【課題】 車椅子を使用する操作者が、詰まった記録用紙を除去して駆動を再開する操作及び記録用紙の補給を行う操作を容易に行うことができる画像形成装置を提供する。

【解決手段】 記録用紙収容部 3 から取り出された記録用紙は、画像形成装置の前面に沿って設けられた用紙搬送路 5 により、画像形成部 2 を経て排紙トレイ 4 に送り出す。用紙搬送路は、前方側に開放される搬送路カバー 5 1 を備え、これを開放して前方から詰まった用紙を除去することを可能とする。このとき搬送路カバーは複数に分割して設け、上下方向の寸法を小さくしておくことによって開放時の張り出し長を小さくする。また、給紙トレイ 3 1 は、側方に引き出しものとし、前方に取っ手 3 2 を設けて前方からの引き出しを可能とする。さらに、給紙トレイは引き出した状態で前方側へ水平に旋回が可能とし、前方側にいる操作者の用紙補給を容易とする。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2 0 0 3 - 2 9 1 1 1 2
受付番号	5 0 3 0 1 3 2 7 6 2 2
書類名	特許願
担当官	第二担当上席 0 0 9 1
作成日	平成 1 5 年 8 月 1 4 日

< 認定情報・付加情報 >

【特許出願人】

【識別番号】	000005496
【住所又は居所】	東京都港区赤坂二丁目 1 7 番 2 2 号
【氏名又は名称】	富士ゼロックス株式会社

【代理人】

申請人	
【識別番号】	100096611
【住所又は居所】	東京都新宿区愛住町 1 9 番地 富士ビル 6 階
【氏名又は名称】	宮川 清

【選任した代理人】

【識別番号】	100097320
【住所又は居所】	東京都新宿区愛住町 1 9 番地 富士ビル 6 階
【氏名又は名称】	宮川 貞二

【選任した代理人】

【識別番号】	100098040
【住所又は居所】	東京都新宿区愛住町 1 9 番地 富士ビル 6 階
【氏名又は名称】	松村 博之

特願 2003-291112

出願人履歴情報

識別番号

[000005496]

1. 変更年月日

1996年 5月29日

[変更理由]

住所変更

住 所

東京都港区赤坂二丁目17番22号

氏 名

富士ゼロックス株式会社